



# 四 気 折 々

川越町立川越中学校  
学校だより 第42号  
令和7年1月14日(火)  
「三重郡人権フォーラム21」  
の振り返り(還流報告)から

四気=川越中学校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」の4つの気!  
学校教育目標 『豊かな心』を土台とした「確かに生きる」力の育成のもと

【令和6年度「三重郡子ども人権フォーラム21」に参加した5名のみなさんからの還流報告】  
昨年の12月23日(月)第2学期終業式において、2学期に全校で取り組んできた人権学習のまとめの意味も含めて『人権フォーラムの還流報告会』をオンラインにて開催しました!  
(11月27日(水)人権フォーラムに参加したみなさんが、全校へ還流報告で伝えてもらった内容です)

## 川越中学校教育ビジョンから

『川越中学校は、関わることを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」』を柱として、一人一人の子どもたちを大切にしたい5つの取り組みをすすめます。(その中の1つとして・・・)

- 【認め合う・支え合う環境づくり】⇒この項目に「人権フォーラム」もつながります
- 一人一人が安心して自分の思いを伝えることができる居場所づくり
  - 生徒間交流ができる場の設定
  - 自尊心 自己肯定感の高揚
  - いじめ、差別を許さない心の育成
  - 道徳教育とキャリア教育の推進

## 11/27(水)に菟野町庁舎にて、「三重郡子ども人権フォーラム21」が行われました。

【人権フォーラムの4つの目的(4つの場の設定)】

- ① 中学校の枠を超えた出会いの場(差別を解消していこうとする場)。
- ② 1つの切り口を通して様々な人権問題について真剣に考える場。学ぶ場。
- ③ 単なる意見発表でなく、討議する場(フォーラムとして)。
- ④ フォーラムで学んだことを還元するための場(フィードバックとして)。



人権フォーラムを終えた5人の顔はどれも充実しているようでした。

5人全員が「すごく話しやすい環境だった」と話していました。人権フォーラムで学んだことを生かして、悩みや思いを話しやすいクラス・学年をめざしてほしいなど思い改めました。私自身もみなさんとの関わりを大切にしていこうと感じた時間となりました。

【2年生学年通信として「人権フォーラム」の同様の内容を配信していただきました。その際の辻木先生のコメントから】  
〔川越中学校の人権フォーラム担当者: 辻木 颯 先生〕

## 12/23(月)参加をした2年生5名のみなさんの「人権フォーラム還流報告」内容から



12月23日(月)の第2学期終業式前、オンラインにて各教室をつなぎ、「三重郡子ども人権フォーラム21」に参加しての還流報告を行いました。三重郡内の川越中学校・朝日中学校・菟野中学校・八風中学校に通う子どもたちが出会い、様々な人権課題について、テーマを決めて話し合う、そして共有し合う「語りの場」です。8人または9人のグループに分かれて語り合います。川越中学校からは毎年2年生を対象としてフォーラムに参加をしています。今年度は2年生から5名の参加者で菟野町庁舎にて実施しました。Aグループは「どうして差別は起こるのか」「心から打ち解けられる仲間とは?」を中心に、Bグループは「自分らしさとは何かを考える」「自分の悩みを見つめる」を中心に意見を出し合い、話し合いが行われました。話し合いは、はじめは先生が進行をしながら、しかし時間の経過とともに参加した生徒たちの意見で話が進められていきます。川越中学校からの5名は、一緒にグループの人たちの話にしっかりと耳を傾け、話に共感し、自分のことも語りながら意見交流をしていきました。参加した5名の2年生のみなさんに、「どんな話をしたのか、どのようなことを学んだのか」を自分の言葉でわかりやすく発表してくれました。自分の言葉でしっかりと思いを伝えてくれたみなさん。本当にありがとうございます。各クラスでしっかりと発表を聴いてくれた全校のみなさん本当にありがとうございます。そして今年度人権フォーラム担当の辻木先生、ありがとうございます。

### 2年1組 佐藤 真慈斗(さとう まじいど) さん



人権フォーラムでは「いじりといじめの違い」についてなどいろいろなことをテーマにしながらかし合いました。その中で実際にあった自分の体験なども入れて話をしました。自分の意見を言う時は緊張をしたけど、みんな自分の話をしっかりと聞いてくれて話しやすかったし、自分の話に聴いてくれる人ばかりで、いろんな意見があってもおもしろかったです。初めて会った人たちの話のおかげで、とても話しやすくて人権フォーラムにいた人たち一人一人が集中して話を聞いてくれたので嬉しかったです。

この人権フォーラムを通して、いじめをなくしていくためには、人間関係を大切に、いじりいじめ関係なしに言葉遣いを考えて、自分に矢印を向けて、自分が言われたらどうかということを一人一人がよく考えることで、少しずついじめはなくなると思います。この人

権フォーラムでとても貴重な体験ができました。普段の教室ではなかなか話せないことも、安心して話すことができました。たくさんの良い時間を過ごすことができました。人権フォーラムに行って良かった。

## 2年2組 千賀 聖永(せんが せな) さん



僕が人権フォーラムに行き思ったことは、1つの問題について考えるときに、「自分だけの視点」で考えたものだけではなく、「一人一人の考え」を聞いて、なるほどそういう考えもあるのか…!ということを感じました。人権フォーラムに行く前の印象としては、「みんなの悩みや思いを伝えて解決策を考える」でしたが、実際は「一つの問題に対してみんなの考えを聞いて、実際にそうできるようにアドバイスをする」という印象でした。

僕たちのグループは「自分らしさとは何か?」ということについて話し合いました。

みなさんも一度「自分らしさとは何か?」を考えてみてください。みなさんの考え方には、「個性」「特徴」「得意 苦手」「好きなものや嫌いなもの」などが思いつくと思います。

では、「自分らしさを普段みなさんは出せていますか?」。自分を出すためには、どのようなことをしたらいいですか?「こんなことも考えてください。いっけん簡単そうに聞こえる質問ですが、よく考えてみるととても難しく感じます。このように人によって違うと思います。自分を出すことが難しいと感じている人のために助けになる案を出したり、みんなでこれからの生活に役立てるように考えました。みなさんも、自分ごととして捉えるだけでなく、「人権」という意味を考えて、あらためて「人権」について知ってほしいです。

## 2年3組 古澤 実桜(ふるさわ みお) さん



私は人権フォーラムのような人権について話し合いをする場に行ったことが初めてで、少し緊張してしまい自分の気持ちを伝える不安を感じてしまっていました。ですが、「話し合い」がはじまる前にした、お互いのことを知るためのレクや、私が話し始めるとみんなが真剣にならずきながら聴いてくれたことで、そんな空気に安心して自分の気持ちを伝えることができました。

私が特に大切にしていきたいと思ったことは「いじりといじめの違いについて」です。「話し合い」の中で、いじりといじめをされた人の感じ取り方によって変わってくると考えました。いじり、いじめをされた人がその行動に対して嫌だと感じた時点で、加害者はいじりだ

と思っても、いじめになると考えていたので、発言する前に、一度相手の立場に立って気持ちを伝えていきたいと思いました。また、過度ないじりやいじめを受けていたとしても、なかなか周りに言い出しづらくともあります。だから、人権フォーラムの場で話しやすかったような、「安心して自分の気持ちを伝えられる空気や雰囲気をつくってほしい」と思いました。ですが、気持ちを伝えやすいような空気をつくっていくのは、私だけでは難しいと思います。だからこそぜひ今日から、相手の立場に立って考えたり話しやすい空気づくりを意識したいです。

## 2年4組 鈴木 結里乃(すずき ゆいの) さん



人権フォーラムでは「自分らしさ」について議論しました。まず、「自分らしさとは何か」を考えました。私は無理していない自然な姿でいるのが「自分らしさ」だと思いました。そこで、「誰に対しても自分らしく接しられているか」という疑問が出ました。今までを振り返ると、「誰に対しても…」はできていないと思うし、話し合ったメンバーの子もほとんど私と同じような意見でした。だから、「誰に対しても自分らしく」接するというのは難しいことだと思いました。そして、誰に対しても自分らしく接しられるようにするにはどうすればよいかを考えました。なぜなら仲の良い子とは会話が弾むけど、あまりしゃべったことがない子だと会話がつまったり沈黙が多くなったりするからです。まずは、あいさつから始めようと思います。会話と違ってあいさつは誰とでもできるし、あいさつをされて嫌な気分になる人は少ないと思うからです。

議論しているときは話をしている人をしっかり見てうなずき共感して意見を言ってくれたりしたので、とても発言しやすい雰囲気でした。最初は不安があったけどいろんな子の意見が聞けたためになったので、参加していい経験になりました。

議論しているときは話をしている人をしっかり見てうなずき共感して意見を言ってくれたりしたので、とても発言しやすい雰囲気でした。最初は不安があったけどいろんな子の意見が聞けたためになったので、参加していい経験になりました。

## 2年5組 池戸 咲葉(いけと さよ) さん



私は人権フォーラムでは「相手の気持ちをより考えることが大事」だと思いました。「いじりといじめの違い」という話題では、人それぞれ感覚が違うので、いじりといじめの境目がわからない人がいるのではないかと考えました。実際、話をしている自分自身がいじめられていると感じたことがある人も多いと思います。人権フォーラムで話し合った中でも、このような経験を話してくれた人もいました。でも、いじりやいじめを嫌だと思っても相手に伝えることはなかなか難しいと感じる人が多いと思います。だからこそ、相談しやすい雰囲気や、信頼できる人に話すことができればいいと思います。まず、嫌な思いをしたり困ったりする人がいなくなるようになることが一番いいと思います。そのため、一度発言する前に相手の気持ちになり、確認することが大切です。当たり前なことだと思かもしれませんが、自分がされて嫌だと思ふことは、もちろん相手も嫌だと思ふ。そのことを頭に入れておけば、これからの人間関係や日々の生活の中で、いじめなど嫌な思いをする人が必ず減ると思います。ぜひみなさんも一緒に考えてほしいと思います。人権フォーラムでは自分と違う視点での意見もたくさんありすごく勉強になりました。ここで得た経験を活用していきたい。

ためには、一度発言する前に相手の気持ちになり、確認することが大切です。当たり前なことだと思ふかもしれませんが、自分がされて嫌だと思ふことは、もちろん相手も嫌だと思ふ。そのことを頭に入れておけば、これからの人間関係や日々の生活の中で、いじめなど嫌な思いをする人が必ず減ると思います。ぜひみなさんも一緒に考えてほしいと思います。人権フォーラムでは自分と違う視点での意見もたくさんありすごく勉強になりました。ここで得た経験を活用していきたい。